

別の顔

放課後は



活躍を目指して練習に励んでいます。週に4日は、始良市や鹿児島市で行われる練習や試合に参加していて、学校生活と合わせて多忙な日々を過ごしています。

小学校低学年の時から始めたバレーボールの魅力は、「仲間と力を合わせて勝てたとき」や「できなかつたプレーができるようになったとき」と話す2人。



2人は「目標は日本一。自分のやるべきことをやってみんなが盛り上がるようなバレーを見せることで協力してくれる家族や先生方に恩返しをしたい」と揃って話してくれました。



鹿屋中学校
すえひろ みかぜ
末弘 美風 さん(3年生)
生徒会長を務める。問題点を見つけ改善するために、校則改正に取り組んだことが思い出。

あさい みゆ
浅井 美結 さん(3年生)
生徒会保健部副部長。体を動かすことが大好き。自己分析では冷静沉着で中間管理職タイプ。

昔、度尾で起きた出来事にクローズアップ!

タイムトラベル ~温故写新~

31話

農業大国の農業まつり



全国でも有数の農業大国、鹿屋市。そんな鹿屋市と鹿屋市農業協同組合(当時)が昭和52年10月に共催したイベントが「第1回鹿屋市農業祭」です。地域農業に取り組み農業者の意欲高揚と一般消費者の農業に対する理解を深めるために、市中央公園で2日間の日程で開催されました。

会場では農・畜産物の展示即売会をはじめ農業機械の販売や営農相談が行われたほか、ステージではラジオ放送によるのど自慢公開録音が行われるなど大いに盛り上がったようです。翌年行われた第2回には延べ2万6千人もの来場者で賑わい、肉や野菜などはたちまち売り切れてしまうほど。回を重ねるごとに、農機具の歴史についての展示や相撲大会、活魚のかみ取りや子豚レースが催されたほか、北田町・大手町の商店街アーケードが完成した年からは、国道を歩行者天国とした現在の「秋祭り」と同時開催されるようになりました。第6回ともなると動員数は4万人を超え、販売用の野菜が売り切れたので農家が畑に収穫しに帰るといった一幕もあったようです。

平成22年の第34回には場所を新川町の第一鹿屋青果地方卸売市場に移し、合併10周年を迎えた第39回からは、現在の会場である霧島ヶ丘公園で実施されるようになりました。



▲5頭の子豚が全長18mのコースを疾走する「子豚レース」の様子。自分が投票した子豚を応援する声が飛び交います。